

年末年始の役場窓口・バスの運行・ごみ収集について

1. 役場窓口

閉庁日 令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)

令和7年12月26日(金)・・・17時15分まで
令和8年 1月 5日(月)・・・ 8時30分から

2. せとうち交流館

休館日 令和7年12月31日(水)～令和8年1月2日(金)

令和7年12月30日(火)・・・17時15分まで
令和8年 1月 3日(土)・・・ 8時30分から

●せとうち交流館 観光戦略課 ☎ 77-2252

3. 潮湯

休館日 令和7年12月31日(水)～令和8年1月1日(木)

令和7年12月30日(火)まで 通常営業
令和8年 1月 2日(金)から 通常営業

●上島町海水温浴施設 潮湯 ☎ 74-0808

4. バスの運行

町有バス 運休日 令和7年12月31日(水)
～令和8年1月2日(金)

①町有バス
令和7年12月30日(火)まで 通常運行
令和8年 1月 3日(土)から 通常運行

②チョイソコゆめしま(デマンド交通)
令和7年12月26日(金)まで 通常運行
令和8年 1月 5日(月)から 通常運行

●公営事業課 公共交通係 ☎ 77-4545

チョイソコゆめしま 運休日 令和7年12月27日(土)
～令和8年1月4日(日)

5. ごみ収集

休業日 令和7年12月31日(水)～令和8年1月4日(日)

年末最後の収集日 令和7年12月30日(火)
年始最初の収集日 令和8年 1月 5日(月)

※休業日には「ごみステーション」へごみを出さないでください。
※年末最後・年始最初の収集日は対象となる地区のみです。

粗大ごみ・一時多量ごみの直接搬入の受付
年 末 12月30日(火)・・・16時50分まで
年 始 1月 5日(月)・・・13時30分から
※魚島地区の受付は7時～10時までです。

●弓削総合支所 住民課 環境衛生係 ☎ 77-2503

第77回人権週間のお知らせ



12月4日(木)から12月10日(水)までは、「第77回人権週間」です。
松山地方方法務局および愛媛県人権擁護委員連合会では、「『誰か』のことじゃない。」を啓発活動重点目標とし、人権尊重思想の普及高揚を図っています。

この機会に、人権意識を高め、相手の気持ちを考え、違いを認め合う心を育てましょう。
人権問題でお困りの方は、みんなの人権110番(☎0570-003-110)までご相談ください。

●問い合わせ
松山地方方法務局 ☎089-932-0888

弓削 住民課☎77-2503 生名町民生活課☎76-3000
岩城町民生活課☎75-2500 魚島町民生活課☎78-0011

ふぐ中毒を防ぎましょう!!!
～12月はふぐ中毒防止月間です～

ふぐ中毒による事件のほとんどが、家庭における素人調理が原因です。以下のことを守って、ふぐを安心しておいしく食べましょう!

- ふぐを自ら調理することは非常に危険です!
- 最悪の場合、死亡するおそれがあるので絶対に素人調理をしないでください!
- 釣ったふぐの調理は、「ふぐ取扱者」の資格のある方に依頼してください!
- 問い合わせ
今治保健所生活衛生課 ☎0898-23-2500
☎0898-23-2531

双葉俳壇一九三回句集【岩城】

真つ先に新米供^{こめ}う仏前に
秋の風日^ひ脚^{あし}みじかく袖^{そで}ながく 田中 華丘
新米の出来に満足ほくそ笑む 深水 健司
新米や古里^{ふるさと}の香よ友の香よ 幸本 郁夫
家系図の枝先途切れ秋の風 山元 征子
美濃部妃苗

秋風や美しき調べをはこびくる
新米のその一粒の光かな 森本 伸子
栗落ちる闇の深きや山の宿 古林 幹枝
田名後簗雨

かみじま郷土話 34 上島町文化財講座が開催されました。



令和7年11月1日(土)、生名小学校体育館において、令和7年度上島町文化財講座が開催されました。今年度は上島町文化祭と同時開催し、昔の祭りの写真や、町内各地区のはっぴの展示も行いました。講師には、西条市の綾延神社で宮司を務める森正康先生(松山東雲短期大学名誉教授)をお招きし、「民俗文化から見た上島諸島一祭り・行事調査の成果」と題してご講演いただきました。

森先生は、愛媛県教育委員会が実施した「愛媛県の祭り・行事調査」の委員長を務められたほか、上島町教育委員会が実施した「弓削島荘総合調査」で民俗分野の調査を担当されました。本講座はそれらの調査成果を中心に、県内では上島町(高浜八幡神社や佐島の八幡神社など)のみで実施されている夜殿祭・宮座式についてお話されました。

講演終了後は、若い世代はどのように祭りに関わっていくべきかなど、聴講者による質問が行われ、森先生は「自分が祭りの担い手のいち中心であるという気持ちを持つ事が大切。祭りは賑やかな部分以外にも、準備等を含めてしんどい部分もあり、若い人でなければできないこともある。年

を取ると難しくなることもある。祭りのしんどい部分を含めたさまざまな経験を今の高齢者とともに若者に担ってもらうことが大事」と回答されました。



生涯学習課
曽根 大地